

ISSEIKAI



Green Days 134 th

特別号

偕楽園ホーム創立45周年記念



Column 1

八王子市・初宿市長より大川センター長に功労表彰と感謝状

一誠会が八王子市より受託されている八王子市高齢者在宅サービスセンター中野のセンター長・大川富美が、長年にわたり民生委員推薦会委員および介護認定審査会委員を務めた功績により、八王子市から行政功労表彰と感謝状を授与されました。



市長(写真左)から表彰を受ける大川センター長。行政と介護現場をつなぐ長年の尽力への評価です

Column 2

若松神社例大祭

去る、9月27日(土)、28日(日)で、偕楽園ホームのある宮下町の氏神様である若松神社で例大祭が執り行われました。

宵宮では、一誠会で屋台を出し、本宮では山車の曳きまわしやお神輿の担ぎ手として職員が参加しました。ご利用者にとっても地域の参加、交流の機会になりました。



一誠会の事務員も大活躍！屋台ではフランクフルトとチュロスを販売し、大好評でした

Event イベントスケジュール (12月・1月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定 ※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

•クリスマス会	令和7年12月20日(土)	偕楽園ホーム	•餅つき大会	令和8年1月10日(土)	会場：初音の杜
•新年会	令和8年1月5日(月)	八王子市高齢者在宅サービスセンター中野			
	令和8年1月7日(水)	第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護			
	令和8年1月10日(土)	初音の杜			

◆ 地域交流会(万講座)の開催 ◆

日時	令和7年12月13日(土)	令和8年1月10日(土)
内容	「看取り介護 施設で看取ること 在宅で看取ること」	「困ったときのための介護保険 制度がわかる話」
講師	社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム 施設長 鷹野賢一	居宅介護支援事業所介護サービス ほのか 介護支援専門員 斎藤健一
場所	偕楽園ホーム	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウィルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていたことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来訪の皆様には検温などご協力いただくこともご了承ください。



一誠会WEB



Facebook



(旧)Twitter



Instagram



YouTube



アメーバーブログ



採用情報



社会福祉法人一誠会

<https://www.kairakuenhome.or.jp>



現在一誠会では、職員募集を行っています。募集中の職種や、待遇などは下記のQRコードからご覧ください。

また、一誠会のウェブサイト、

SNSは左記のQRコードからどうぞ。

採用情報



偕楽園ホーム創設45周年寄稿文

文・新谷 義克
社会福祉法人 一誠会 参与

特別企画

『我が人生を振り返り』

函館に生まれ

—人生の原風景—

私は今年で満九十三歳になり、最近は心身共に老化を感じるようになりました。

この際、一誠会を設立した者として、私の人となりを皆様に知つていただくのも意義があるのでないかと思い、記すことにしました。

お陰様で社会福祉法人 一誠会の最初の事業である、特別養護老人ホーム 偕楽園ホームは創設45周年を迎える事ができました。

今回の『GreenDays』では特別企画と題しまして、創設者である新谷 義克より、その半生を振り返ると共に、一誠会への想いを綴ってもらいました。

私は、北海道の函館で網元をしていた父親の長男として三人の姉とともに、網元の跡取りとして大事に育てられました。

父は、函館高等水産学校（北大水産学部の前身）を卒業した当時のインテリで、教育に大変理解のある人でした。



新谷氏が幼い頃の函館駅前大門通(昭和15年)
※函館市中央図書館所蔵



しんや よしみ

1932年、北海道函館市出身。
56年、早稲田大学法学部卒業。
60年、東邦大学医学部卒業。
61年、東京警察病院外科入局。
69年、東京都府中市に新谷医院を開院。
80年、特別養護老人ホーム偕楽園ホームを八王子市に開設。新谷医院院長、一誠会理事長、五常会理事長、戸井福祉会理事長を歴任。はこだて観光大使に就き、現在に至る。



新谷氏が1年生時に在籍した帯広柏葉高校(当時)



新谷氏が2年生時に在籍した函館中部高校(当時)
※函館市中央図書館所蔵

当時は本州のことを内地と呼び、東京に行くには函館から四時間半かけて青函連絡船で青森まで渡り、そこからモクモクと煙を吐く機関車で上野まで行くという一日がかりの行程でした（現在は飛行機で一時間半ほどですが）。

そのような中で、長姉の山本久子が明治大学法学部女子部（当時共学ではなかった）に進学したのはとても珍しく、私も小学生の頃より函館師範学校（北大の前身）の学生の家庭教師をつけてもらっていました。

その後、次第に日本は軍国化し厳しい世相となっていました。米は配給制となり、ご飯も充分に食べられず、芋や豆を代用食として飢えをしました。米は配給制となり、ご

飯も充分に食べられず、芋や豆を代用食として飢えをしのいでいた時代です。そして、私が中学一年生の時には、大東

亜戦争が終戦を迎えると同時に父が四十二歳で当時の国民病といわれた肺結核で亡くなりました。終戦直後は、鬼畜米英として敵だったアメリカ兵が武装をして市内を巡回していました。

日本の警察は全く無力状態となり、あらゆる物事の価値観は一変してしまいました。

そのような混乱した時代に中学二年・三年生を過ごした私は、所謂不良少年になり、交番に一晩留置されたこともありました。

銀行預金も凍結され、母親は夫の死と経済的な不安と息子の不良化で、大変な苦労を強いられたことと思います。

その後、高校は一年毎に違う学校へ

転入後の高校では、悪ガキ道部やラグビー部から呼び出されては暴力を受ける辛い日々で、毎日のように母に手紙を書いていました。

その後、旧制中学三年生になりました。

その後、四年生になる時に学校の度が変わり、全員が新制の函館

館東高校一年生に移行しましたが、私は退学処分となり、函館から当時汽車で四時間の帶広の知人を頼つてようやく帯広柏葉高校の一年生に編入することができました。

母のお陰で、二年生に進学する時には函館に戻ることができましたが、一年前に退学になつた函館東高校には戻れず函館中部高校に編入し、それからは眞面目に勉学に励むようになりました。

その後、三年生に進学する時には学区制の変更により、西高校への通学が決まり、高校生活の三年間で毎年異なる三つの高校へ通うという大変

珍しい結果となりました。



新谷氏が3年生時に在籍した函館西高校(当時)

医者を目指して
一 大学時代は二足のわらじ
高校卒業後は、早稲田大学法学部に入学できましたが、以前より医師になりたいとの思いがありました。しかし、法学部の教養課程二年では医学部の受験単位が取れず、三年生になる時に千葉県の東邦大学理学部に入学し、早稲田大学法学部三年・四年生と東邦

学部がないのに新谷さんはお医者さんですか、と度々聞かれ珍しがられました。
また、府中校友会では早稲田大学法学部の一年先輩の小室さん(音楽家の小室哲哉氏の父)が会長、私が副会長のコンビで二十年勤めました。当時は哲哉氏の活動の全盛期で、彼の海外の別荘に我々校友会員も誘われ大いに恩恵を受けました。

平成二十八年には、医学部のない早稲田大学を卒業した後に、他大学の医学部へ進学し、医師として活躍している人が集まつた、大学公認の稻門医師会を私も発起人の一人として立ち上げました。

現在は、歯科医・薬剤師などを含め二百数十名もの会員が稀有な校友会活動をしています。医学部のない大学で大

大学理学部一年・二年生をダ

ブつて通学し、医学部受験に必要な単位を取りました。

当然ながら両学部とも出席が不十分で、クラスメートにノートを借りて何とか対応していました。当時、東邦大学

理学部で一番多くノートを借りた女子学生は薬剤師となり、後に私の妻となりました。

その後、医学部を受験しましたが失敗。早稲田大学も単位不足で卒業はならず、翌年の再挑戦でようやく東邦大

学医学部の合格と早稲田大学法学部も卒業することができます。医学部在学中は育英会等の奨学金の援助を受け学業を続けることができました。

卒業後は、東京警察病院の外科に入局し外科医として修業しましたが、麻酔科だけは麻酔科専門医の資格がなければ標榜できませんので、その間、麻酔科専門医の資格も取りました。

また、外科に在籍中に東京医科歯科大学基礎研究室に入局し、十年かかって医学博士を取得しました。こうして外



新谷氏が医者を目指して入学した 東邦大学



新谷氏の母校 早稲田大学



五常会 濑戸の里
(岐阜県 中津川市)

一誠会 偕楽園ホーム
(東京都 八王子市)

戸井福祉会 潮寿荘
(北海道 函館市)

てもらい、長姉の山本久子に五常会『瀬戸の里』(岐阜県中津川市)、次姉の佐藤園子に一誠会『偕楽園ホーム』(東京都八王子市)、そして三姉の吉井聰子には戸井福祉会『潮寿荘』(北海道函館市)、それぞれの施設長を務めてもらいました。

一方では、地元の東京・府中で特養の市立よつや苑の開設時に縁があり、市より一誠会が運営法人として委託を受け十数年運営していました。



新谷氏の三人の姉
左から長姉(山本)・二姉(佐藤)・三姉(吉井)



新谷氏が発起人の一人として立ち上げた 早稲田大学 稲門医師会
(○囲みが新谷氏)

科で約十年間修業後、昭和四十四年に府中市で診療所を開業しました。

学府中校友会にも入会し、隣の稻門会との交流なども多く、そこで早稲田大学には医

開業後に、地元の早稲田大学で約十年間修業後、昭和四十四年に府中市で診療所を開業しました。

また、長姉である五常会の山本前施設長は個人として藍綬褒章と瑞宝章を叙勲していますが、さらに平成十九年に

より受け取りに姉とともに岐阜県庁に参りました。大変に名譽なことです。



一個人が、八王子・岐阜・函館と全国の異なる三ヵ所の地域に、それぞれ独立した社会福祉法人を創設し、全ての法人において理事長を兼任していました。

診療所での医師としての努めの他に、各法人の理事会・評議員会への出席や、夏祭りなどの催しに参加するため、多い時には各々の施設へ年に五回ずつほど往復していました。函館へは約三時間、岐阜へは電車や車で約五時間ほどかかり、多忙を極めました。

現在では八王子の一誠会、岐阜の五常会、函館は戸井福

は『瀬戸の里』が優良民間福祉施設として天皇陛下より表彰されました。御下賜金を知事

の努力のお陰で地域福祉に貢献しています。

人生(旅)を振り返り —感謝と共に—

今こうして振り返ります

と、大変に稀でかつ厚みのあった人生を歩んできたものだと自負しております。

現在は、約二十年勤めた裁判所の民事調停委員と鑑定委

社会が、それぞれ現場の職員の努力のお陰で地域福祉に貢献しています。
なお、八王子の一誠会、岐阜の五常会に続き、函館の戸井福祉会の理事長の職も後進だと自信しております。

井福祉会の理事長の職も後進に道を譲るため、バトンを託したところです。

こうして次の世代に引き継いでいくなかで、令和四年十一月には東京都で初となる社会福祉連携推進法人一五戸共栄会(いちごときょうえいかい)本部(八王子市)がこの三法人を足掛かりとして発足いたしました。

三法人が共に手を携えながら私の意志を引継ぎ、福祉介護のさらなる発展に寄与してくれるることを願つてやみません。



関東ラグビー協会マッチドクターとして(2010年)

このタベ 力つくせり 法師蟬

森澄雄



またいとこの東京都知事 小池百合子さん(中央)を囲み、一誠会 鈴木理事長(左)と、新橋の寿司屋にて

最後に、私の九十三年間を総括しますと、中学で退学処分になつた不良少年が今日あるのは、姉三人と私からの毎月のおこづかいを貯めたへそ

き合いのほどよろしくお願いいたします。

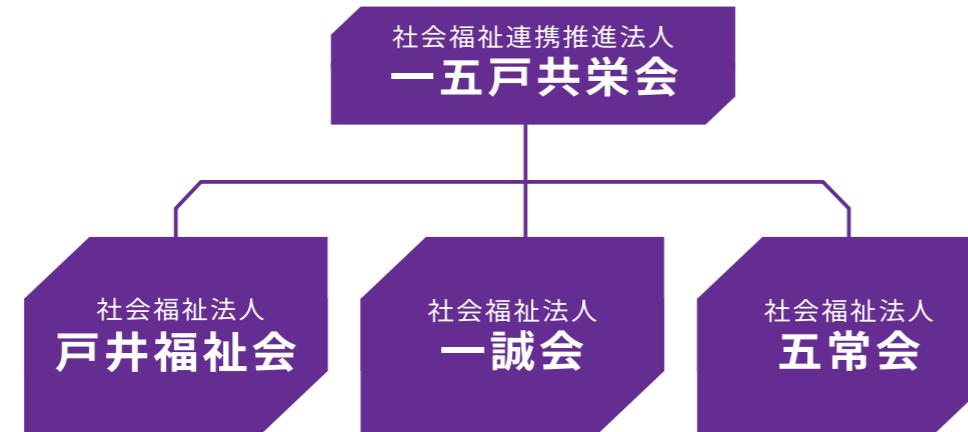
これからは限りある時間をのんびりと過ごしながら、一誠会、五常会、戸井福祉会の成長を静かに見守つていきた

いと思つています。

皆様には、今しばらくお付

山本前施設長は個人として藍綬褒章と瑞宝章を叙勲していますが、さらに平成十九年に

より受け取りに姉とともに岐阜県庁に参りました。大変に名譽なことです。



員は退任、約三十年続けた日本体育協会公認スポーツドクターと関東ラグビー協会マッサージャーは卒業し、早稲田大学商議員と函館市の観光大使だけは続けています。

なお、八王子の一誠会、岐阜の五常会に続き、函館の戸井福祉会の理事長の職も後進に道を譲るため、バトンを託したところです。

こうして次の世代に引き継いでいくなかで、令和四年十一月には東京都で初となる社会福祉連携推進法人一五戸共栄会(いちごときょうえいかい)本部(八王子市)がこの三法人を足掛かりとして発足いたしました。

三法人が共に手を携えながら私の意志を引継ぎ、福祉介護のさらなる発展に寄与してくれるることを願つてやみません。

本体育協会公認スポーツドクターと関東ラグビー協会マッサージャーは卒業し、早稲田大学商議員と函館市の観光大使だけは続けています。

なお、八王子の一誠会、岐阜の五常会に続き、函館の戸井福祉会の理事長の職も後進に道を譲るため、バトンを託したところです。

こうして次の世代に引き継いでいくなかで、令和四年十一月には東京都で初となる社会福祉連携推進法人一五戸共栄会(いちごときょうえいかい)本部(八王子市)がこの三法人を足掛かりとして発足いたしました。

三法人が共に手を携えながら私の意志を引継ぎ、福祉介護のさらなる発展に寄与してくれるることを願つてやみません。

偕楽園ホーム 歴代施設長一覧



初代施設長
佐藤園子
1980.3～1991.11
(昭和55年3月～平成3年11月)



二代目
池田茂雄
1991.12～1995.1
(平成3年12月～平成7年1月)



三代目
大江喜四郎
1995.2～1996.12
(平成7年2月～平成8年12月)



四代目
小室節子
1996.12～1999.3
(平成8年12月～平成11年3月)



五代目
佐藤園子
1999.4～1999.4
(平成11年4月～平成11年4月)



六代目
大家昇
1999.5～2005.3
(平成11年5月～平成17年3月)



七代目
佐道保彦
2005.4～2013.12
(平成17年4月～平成25年12月)



八代目
水野敬生
2014.1～2018.3
(平成26年1月～平成30年3月)



九代目
堀茂
2018.4～2021.6
(平成30年4月～令和3年6月)



十代目
鷹野賢一
2021.7～2023.6
(令和3年7月～令和5年6月)



十一代目
水野敬生
2023.7～2024.3
(令和5年7月～令和6年3月)



十二代目
鷹野賢一
2024.4～
(令和6年4月～)



感謝を胸に迎える45周年 ～創設の志を胸に未来へ～



社会福祉法人一誠会
偕楽園ホーム施設長
鷹野賢一

このたび、偕楽園ホームは開設45年を迎えた。

この記念すべき日を迎えられましたのも、ひとえに開設以来ご支援・ご協力をいたいた地域の皆様をはじめ、努力を重ねてこられた先人の方々のおかげであると、心より感謝申し上げます。本号は、偕楽園ホーム開設45周年の記念号として、創設者・新谷義克先生の特別寄稿文を掲載しております。

新谷先生からは、かつて「好きになることが上手になることの秘訣」という言葉を頂戴しました。外科医である新谷先生は、仕事を好きになることで技術が向

上するという意味で話されました。介護職に置き換えるなら、お年寄りを好きになることで介護の腕が上がるという教えとして受け止めています。

偕楽園ホームには、お年寄りを思う気持ちをもつた職員が多くおります。

の思いに加え、世の中や環境の変化を

チャンスととらえ、何事にも前向きに挑

戦していくほしいと思います。

結びに、45周年記念号を発行できま

したことに心より感謝申し上げます。

これからも50周年に向けて、感謝の気

持ちを忘れず、歩みを進めてまいりま

Green Days



社会福祉法人一誠会 広報誌
『グリーン・デイズ』2025.11 Vol.134

Contents

02-07 特別企画

偕楽園ホーム 45周年寄稿文

『我が人生を振り返り』

社会福祉法人一誠会 参与 新谷 義克

08 トップリレー

社会福祉法人一誠会

偕楽園ホーム 施設長 鷹野 賢一

09 偕楽園ホーム 歴代施設長一覧

10 偕楽園ホーム OB より

小室 節子

11 偕楽園ホーム OB より

向 晃良

12-13 ~職員クロストーク~

5年の月日を振り返り

介護職員 又吉彩香

介護職員 佐藤佑哉

14 ご寄付・ボランティアのご紹介

私のボランティア活動

栄養管理士のお食事レシピ

15 介護の相談箱／編集後記

16 Column ①・②

イベントスケジュール

地域交流会（万講座）の開催

発行／社会福祉法人 一誠会

〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地

TEL：(偕楽園ホーム)042-691-2830

(初音の杜)042-691-8289

(第二偕楽園ホーム)042-691-0913

(高齢者あんしん相談センター大和田)042-649-3280

(八王子市高齢者在宅サービスセンター中野)042-634-9615

現 社会福祉法人 五常会 常務理事・事務局長

むかい あきら
向 晃良



「上で安静にという考え方が主流をしめていました。

「そういう体制への疑問を持て」がスター・トライインでした。「偕楽園ホームは死ぬために入つてくるのではない。生き抜くために利用するのだ」という理事長の考えのもと、在宅の普通の暮らしの継続。酒が飲めて、自分のしたいことをして死ぬ。開放的で、「自分が今入つても暮らせるホーム」というのをコンセプトにしていました。

朝日新聞 2010年9月21日



新谷氏のご紹介で30年間続いた
敬老のお祝いが掲載されました



偕楽園ホームの名前の由来とおり、「皆が楽しむ場所としてケアに取り組んできました



偕楽園ホームの屋上で開催された納涼祭には、多くの方々が参加されました

偕楽園ホーム

こむろ せつ
小室 節子



昭和11（1936）年に相模原で生まれた私は、当時保土ヶ谷にあつた神奈川栄養短期大学の栄養科（現神奈川県立保健福祉大学 栄養学科）を卒業後、病院にて管理栄養士として2年間の勤務の後、出産を機に退職。

その後しばらくは主に専業主婦として過ごしていましたが、昭和57年に縁あつて偕楽園ホームに管理栄養士として働き始めました。

当時、偕楽園ホームの施設長であった佐藤園子さんから食事改革を任せられ、『温かいものは温かく』や、当時では珍しかったバイキング方式の採用など、「ご利用者に喜んでいただきたい」の一心で管理栄養士の仕事に向き合つてまいりました。

現在においても偕楽園ホームをはじめ、一誠会全体でご

当時、偕楽園ホームの施設長であった佐藤園子さんから食事改革を任せられ、『温かいものは温かく』や、当時では珍しかったバイキング方式の採用など、「ご利用者に喜んでいただきたい」の一心で管理栄養士の仕事に向き合つてまいりました。

現在においても偕楽園ホームをはじめ、一誠会全体でご

利用者の食事に対するこだわりは今も生き続けており、大変うれしく思つております。管理栄養士としての姿勢が評価されたのか、平成8（1996）年に偕楽園ホームの施設長に任命されたのですが、施設運営に関しては全くの素人であり、周りの方の協力なくしては務めることはできなかつたと感謝しております。

介護福祉において一番大切なことは”ふれあい”であると私自身は考えております。

人を介して、食事を介して、職員とご利用者、また、職員同士がふれあうことで相互理解が生まれ、それによつて、より質の高い介護につながるのでないでしょうか。

現在、私はボランティアとして一誠会とのご縁が続いておりますが、こうしたご縁も



退職後もボランティアとしてご利用者と関わっています(ご利用者のお出かけツアーや)。

新谷先生の『先人の知恵を生かそう』というお考えから、私に活動の場を与えていただけていると感謝しております。

また、偕楽園ホーム開設45周年の歴史を紡ぐ中に関れたことを誇りに思うと同時に感謝の念に堪えません。現在のスタッフや未来の仲間たちが、さらなる歴史を紡いでくれることを願つてやみません。

最後になりましたが、偕楽園ホーム開設45周年、本当におめでとうございます。

—先ずはお二人の一誠会での経験をお聞きします

佐藤 2018年4月に一誠会に入職し、介護士として、現在8年目になります。

又吉 私は2015年の4月に入職してから、介護士として10年が経ちました。

—佐藤さんは偕楽園ホームから第二偕楽園ホームと職場が変わりましたが、違いはありますか?—

佐藤 従来型(多床室)の偕楽園ホームに比べ、第二偕楽園ホームは地域密着型(個室)ユニットタイプということで、対応するご利用者の規模の違いはあります。

5年の月日を振り返り



社会福祉法人 一誠会 40周年記念号において、若手として登場して貰った介護士の又吉さん(旧姓:田名部) 彩香さん(28)と、佐藤 佑哉(26)さん。

前回から5年の月日が流れ、お二人とも中堅と呼ばれる立場となりました。今回改めてお二人に登場していただき、5年間での変化について語っていただきました。

—5年前の一誠会40周年記念誌でもお二人は誌面に登場していただいていますが、この5年間で何か変化はありましたか?—

佐藤 5年前は偕楽園ホームに所属しており、入職2年目でした。その後、第二偕楽園ホームに異動となり、(第二偕楽園ホームで)4年が経ちました。
又吉 私は入職以来、ずっと偕楽園ホームで職場は変わりませんが、個人的には結婚・出産という、大きな変化がありました。

—この5年間で、自分自身が仕事の中で成長できたことはなんでしょうか?—
又吉 以前よりご利用者に対し、積極的に話しかけることができるようになつたと思います。
5年前はまだ少し苦手意識がありましたが、今ではご利用者と話すのが好きになりました。

また、仕事に関しては、介護士としてまだまだ覚えるべきこと、やるべきことが沢山ありますので、今はまだできる限り現場の最前線でご利用者と関わっていきたいと考えています。



—これから仕事でやりたいこと、チャレンジしたいことなどがあればお聞かせください—
佐藤 としては、ご利用者に喜んでいただけるイベントを自分で

—これから仕事でやりたいこと、チャレンジしたいことなどがあればお聞かせください—

佐藤 チャレンジしたいこととしては、ご利用者に喜んでいただけるイベントを自分で

を常に心がけることで、ご利用者から感謝をされ、さらに自分自身の成長にもつながる魅力ある仕事だと思います。
又吉 佐藤さんが言うように、そうした会話のなかで、人生の先輩だからこそ知っている物事や考え方を聞けるという人は、自分と同世代の人よりも知り得る機会も多く、自身の人間性を高められるというのには他の職種ではなかなか得ることのできない仕事だと思っています。

—これから介護の仕事を志す方に向けて、介護の魅力ややりがいについてメッセージをお願いできますでしょうか?—

佐藤 介護職って、ご利用者との会話を一つをとっても相手の方が何を望んでいるのか?

—これから介護の仕事を志す方に向けて、介護の魅力ややりがいについてメッセージをお願いできますでしょうか?—
又吉 佐藤さんが言うように、そうした会話のなかで、人生の先輩だからこそ知っている物事や考え方を聞けるという人は、自分と同世代の人よりも知り得る機会が多く、自身の人間性を高められるというのには他の職種ではなかなか得ることのできない仕事だと思っています。

—これから仕事でやりたいこと、チャレンジしたいことなどがあればお聞かせください—
佐藤 チャレンジしたいこととしては、ご利用者に喜んでいただけるイベントを自分で

—これから仕事でやりたいこと、チャレンジしたいことなどがあればお聞かせください—

佐藤 チャレンジしたいこととしては、ご利用者に喜んでいただけるイベントを自分で



—これから仕事でやりたいこと、チャレンジしたいことなどがあればお聞かせください—

又吉 私は2015年の4月に入職してから、介護士として10年が経ちました。

介護の相談箱

特別養護老人ホームとは

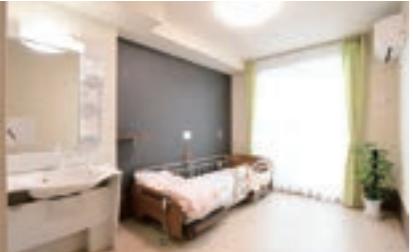
Q 特別養護老人ホームはどのような施設ですか？

A 常に介護を必要とする方に対して、入浴や食事など日常生活の支援や機能訓練、療養上の世話をを行うことを目的とした施設です。ほかの入居型施設に比べ、食費や居住費に減額を受けられる制度があり、居室の形態によっては費用を抑えられる場合もあります。24時間体制で介護を受けられることが特徴で、入所対象は原則「要介護3以上の認定を受けた65歳以上の方」となっています。

一誠会では、2つの特別養護老人ホームを運営しています。八王子市外の方も利用できる多床室の「偕楽園ホーム」(定員100名)と、八王子市内の方を対象とした全室個室の「第二偕楽園ホーム」(定員29名)です。どちらも看取り介護の体制を整え、人生の最期を安心して過ごせる施設です。

※広報委員会では、皆様から事業所や記事に関するご意見、ご質問をFAXかメールで募集しています。FAX:042-691-8288 メール:info@kairakuenhome.or.jp

【サービス付き高齢者向け住宅 第二偕楽園ホーム】



入居者募集中

サービス付き高齢者向け住宅は、高齢者が安心して暮らせるよう配慮された住環境と安否確認・生活相談といったサービスが付いたバリアフリー構造の高齢者住宅です。

月額費用：11万7,540円/月 敷金、礼金は不要です。

(家賃6万円、共益費3万0,540円、支援費2万7,000円) 別途食費5万3,400円

部屋数室：12室(全面個室 各18.63m²)

居室設備：洗面、トイレ、収納、エアコン、ナースコール、スプリンクラー

入居要件：60歳以上の高齢者、要介護認定を受けた60歳未満の方

※介護サービスを受けられる場合には別途料金が発生します。

詳細は、ホームページをご覧いただくか、下記お問い合わせまでご連絡ください。

【お問い合わせ】

社会福祉法人 一誠会 第二偕楽園ホーム
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地

TEL:042-691-1866 FAX:042-691-1870

担当：高橋

Green Days

グリーンデイズ Vol.134

発行：社会福祉法人一誠会

発行日：2025年11月15日

発行人：鈴木康之

編集人：鷹野賢一

住所：東京都八王子市宮下町983番地



編集後記

今号では、特別企画として法人創設者・新谷義克先生の寄稿文を掲載しました。

学生時代にラグビーで培われた「One for all, All for one」の精神。新谷先生はこの言葉を、介護の現場や組織づくりにも通じる信念として、法人経営の根底に据えてこられました。

「みんなは一人のために、一人はみんなのために」。その想いが、福祉に携わる私たち一人ひとりの背中を押し、今日の一誠会の礎となっています。

“福祉は個ではなく、チームで育てるもの”。改めてその原点に立ち返り、日々の実践の中で理念を体現していくことの大切さを感じさせてくれる寄稿でした。

これからも“全員参加の福祉”を合言葉に、心をひとつに前進してまいります。

社会福祉法人 一誠会 常務理事 水野敬生



今回は、偕楽園ホームで活動いただいている岡部トシ枝さんのご紹介です。活動は、ホーム喫茶のほか、初音の杜でも大正琴を披露いたくななど、一誠会では10年以上にわたり活動を続け、地域との懸け橋になつてくださっています。



岡部さんには、ご利用者の笑顔があふれる温かな時間を届けていただいています

Volunteer

私のボランティア活動

偕楽園ホーム

ホーム喫茶

岡部トシ枝さん

ご寄付の紹介

青木典子	天辰寿子	岡部章臣	片岡潮	株式会社アイテックプロ	代表取締役 新井一美
藤幸子	遠藤利子	雨宮千代野	伊藤玲子	伊藤恵子	稻垣輝彦
島京子	及川紀子	太田健子	大塚京子	岡部トシ枝	長田百合代
櫻井いづみ	鈴木とみ子	川久保栄美	川久保栄美	小林加珠	小林加代
三和興業	三和興業	須藤誠	須藤誠	七五三猪久美	千葉慶子
有限会社	代表取締役 久保田綾	高木章子	高木章子	塚口	塚口
マルガス東京株式会社	代表取締役 久保田綾	立川利子	立川利子	吉田志織	吉田志織
タキヨセイモア株式会社	増谷壽司	中村幸江	長谷川康子	吉井かず美	吉井かず美
森川直哉	湯本つね代	羽林ちえこ	羽林ちえこ	橋本重子	橋本重子
渡辺欣也	吉井かず美	吉田志織	吉田志織	森川直哉	森川直哉

敬称は省略させていただきます。

作り方

魚肉ソーセージの旨味が溶け出したシャキシャキの小松菜炒めに、目玉焼きをのせた食べ応えのある一品です。たんぱく質、ビタミン、ミネラルをバランス良く摂ることができます。

魚肉ソーセージで巣ごもり卵

<材料>

魚肉ソーセージ	-----	1本
卵	-----	1個
小松菜	-----	1.5束
とろけるスライスチーズ	-----	1/2枚
油	-----	少々
トマトケチャップ	-----	少々
青のり	-----	少々

